

- 自ら考え学ぶことによって、生き方を判断するための「基礎学力」を身につける。
- かわり合いながら、「人格の発達や豊かな人間性」を身につける。
- 目標に向かって努力し、「チャレンジ」する。

小中一貫教育取組みのキーワード ①グランドデザイン ②交流促進 ③生徒指導の三機能

グランドデザイン（カリキュラム）

◇取組の柱（6項目）

ことば・ノート・読書・家庭学習・あいさつ・そうじ

- ・前期、中期、後期でそれぞれに目指す姿、取組の手立て、評価指標を作成し、4校が連携し一体的な指導を行う。
- ・取組の焦点化を進めるために、本年度は「家庭学習」と「挨拶」に集中的に取り組み、その達成度を評価していく。（6月、11月の年間2回）

交流促進

◇児童会・生徒会の交流

- ・小中合同の挨拶運動の継続（各学期1回）
- ・校区一斉あいさつ運動（毎月第1月曜日）
- ・合同リーダー研修の実施（長期休業中）

◇小中合同ボランティア活動の推進（大好き！福山，市民一丸）

- ・地域と連携した、行事等への参加

◇一日体験学習（オープンスクール）の実施

生徒指導の三機能 を生かした授業づくり

- 自己存在感を与える。
- 共感的人間関係を結ぶ。
- 自己決定の場を与える。

◇研究会への相互参加による研修

- ・共通的な「振り返りカード」を作成し活用する。

◇合同研究会の開催

- ・研究会の開催に向け日常的な連携を図り、段階的な取り組みを進める。

◇道徳カリキュラムの活用

- ・規範意識の醸成に向け、発達段階に応じた教材を選定し指導を行う。

済美中学校

○校訓 ~至誠・力行・一貫~

○学校教育目標
人間性豊かに他者とかかわり、確かな学力を身につけて、夢を語り、自らの進路を切り拓く生徒の育成

○学校スローガン ~済美になろう~

ASKの取り組み
朝読書：月間読書目標 200 ページ
済美ノート：毎日8行の記入
家庭学習：1年 70分、2年 80分、3年 90分

知 徳 体

日本全国どこに行っても通用する知力・体力・コミュニケーション能力・マナーを身に付けた生徒を送り出すことを済美中学校の使命としています。

16 津之郷小学校

学校教育目標
豊かな心を持ち、主体的な実践力のある子どもを育てる

めざしているのは、豊かなかわり合いを通して一人一人が生きて輝く学校。済美中学校とも連携し、9年間の長期ビジョンをもって知・徳・体のバランスのとれた発達を促進しています。豊かなかわり合いがいっぱいだから安心して学ぶことができ、自己肯定感が生まれ、「やればできる」という自信と意欲をもって学習できます。

- 言語活動の充実と読書活動…学習過程や授業の工夫と共に、毎朝10分間の読書タイムや、いつでも読書できる学級読書の設置など読書指導にも力を入れおり、論理的思考力・判断力・表現力の向上をめざしています。読書活動は学習意欲の向上につながり、自主的な学びを育てます。読書タイムでは、読書ボランティアの方々による読み聞かせも行っています。
- チャレンジタイム…毎日午後の授業開始前の10分間、及び毎月1時間以上、学力の基礎の定着を図ることをめざし、計算、漢字、ことば(言語技術)を中心に実施しています。また論理的な思考を必要とする問題(チャレンジシート)も取り入れ、活用力を培っています。
- 豊かなかわり合い…友だちスキル(技能)など「人との関わり合い」を重点にした道徳教育や、ペア学習、全校ドッチボール大会、児童会行事など関わり方を学ぶ場がたくさんあります。また、毎学期、「児童アンケート」を行い、担任と児童の個別面談を全員に実施すると共に、毎月一回の教育相談日を設定し、担任以外の教職員に相談できるようにするなど、学校生活や個々の子どもの実態や悩みを伝え、一人一人が輝けるようきめ細かく支援を行っています。
- 充実している学校支援ボランティア…登下校はもちろん、読書、参観日の子ども預かりや、環境・歴史学習支援ボランティアなど学校支援ボランティアがたいへん充実しており、子どもたちは、多くの大人に見守られ、安心して学べる環境が整っています。

だから学習に集中することができ、学力が向上します。

赤坂小学校

学校教育目標
自ら学び行動する子どもの育成
やさしい子 考える子 ねばり強い子

基礎・基本の学力をつけ、
学びの力を育てます
家庭学習の手引き
スキルアップの蒂タイム

日本一のあいさつの
心を育てます
すすんであいさつ
ありがとうを伝える

よくわかる授業で
思考力・表現力をつけます
体談活動
伝え合う授業

森場に誇りをもち
森垣大好きな児童を育てます
ボランティアの方との交流
地域の教育財の活用
環境リーダー校

小中一貫教育
「生徒指導の三機能」を生かした教育活動・授業づくり

全校でわり掃除
伝え合う授業
元氣タイム
河手川クリーン作戦

18 瀬戸小学校

教育理念
ふるさと瀬戸町を愛し、誇れる、きらきらかがやく瀬戸っ子を育てる

学校教育目標
自ら考え学び、貢献する子どもの育成

めざす学校像
活力みなぎる学校
安心して過ごせる学校
地域とともに歩む学校

めざす子ども像
自ら考え学ぶ子
地域社会に貢献する子

めざす教職員像
教育に対し情熱と使命感をもち、義務教育
9年間を誇らし、明るく元気で子どもたちの
成長を引き出す教職員

自信をもち、笑顔あふれる「瀬戸っ子」を育てます
家庭と学校が手をつなぎあって
瀬戸っ子を育てます

笑顔
自分から進んであいさつ 友だちの良いところを見つけ
子ども一人一人の良さを見つけ、それをほめていくことで自信
をつけ、自己肯定感を高めていきます。

話をしっかり聴くことを大切にします
目で聴く
耳で聴く
心で聴く

食育の推進をします
家庭でつくれる学校給食レシピの配布とお弁当作りの取組み
月1回以上、旬の食材を取り入れたレシピを配布し、家庭の
食文化の向上を図るとともに、お弁当作りを通して食への興味
関心を高めていきます。

義務教育9年間で瀬戸っ子を育てます(小中一貫)